

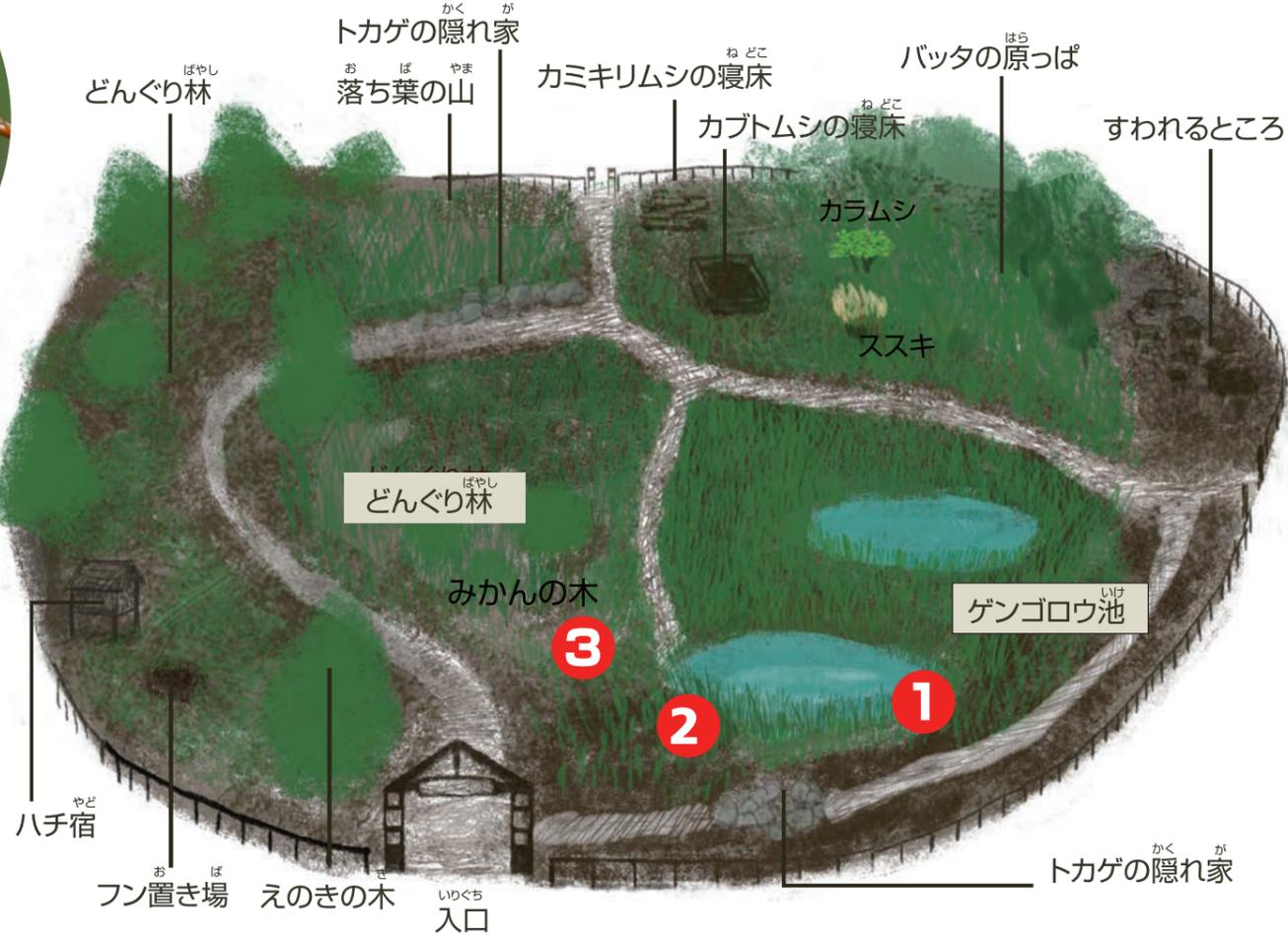
今週の

いきもの広場

① キタキチョウの幼虫



いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さな仕掛けがたくさんあります。10月に入り、実も色付き秋らしくなってきました。暑さも和らぎ、いきものたちもよく見られます。



③ ナミアゲハの幼虫



ミカン科の木には、多くのアゲハの幼虫がいます。1～4齢までは鳥のフンに擬態をしていて、終齢になると、眼状紋が特徴的になります。敵に襲われた時には、胸部の先端にしまっている臭角（矢印）を出します。

② クロアゲハの幼虫



ナミアゲハと似ていますがよく見てみると、体にある斜帯は黒色や茶色っぽいんです。ミカン科の木によくいます。

右側の写真はナミアゲハの蛹です。アゲハの種類によって蛹の見え方も違います。

③ ナミアゲハの蛹



ガマズミの実がみのっています
実は小さいですが、とても色鮮やかです。目立つことで、鳥たちに食べてもらい、種子をより遠くへ運びます。